



(1) 東京市板橋區志村一里塚附近の九號國道。

九號國道改良工事

概 説

九號國道(中山道)中連續せる鋪裝區間は東京市日本橋より高崎市に至り其延長約110軒に及び、京阪の天津姫路間の約150軒に次ぐ長距離鋪裝なり。

鋪裝種類は大體東京市内がアスファルト鋪裝(16軒)、荒川を渡り埼玉縣に入り大宮附近がコンクリート鋪裝(17軒)、それより高崎迄がアスファルト系の簡易鋪裝(77軒)にして、東京市、東京府、埼玉縣、群馬縣及内務省東京土木出張所等の施工による。

本街道が産業其他あらゆる方面に於て東京を中心とする主要なる幹線道路たることは勿論、近年都人士間に遽に流行を見つゝある郊外ドライブには、本道は甲州街道と共に東京近郊に於ける好適なる道路なり。特にドライブに適するは東京市板橋區志村清水町より埼玉縣大宮町に至る約20軒の區間にして、本區

間の改良は昭和六年度國直轄の失業救済事業として起工せられ、爾來毎年連續施工、本年度迄に總工費約300萬圓を投じたり。但し埼玉縣施工の戸田橋延長530米、工費90萬圓は之を加算せず。

設 計 大 要

本工事區間の設計概要を述べれば次の如し。

〔道路幅員〕 戸田橋を界とし東京市側は25米、内車道16.6米、歩道兩側各4.2米。埼玉縣側は15米、内車道9乃至11米、歩道各側2乃至3米とす。

〔最急勾配〕 30分の1、最大延長430米。

〔最小屈曲半徑〕 120米、本箇所は車道の幅を16.6米とす。

〔鋪裝種類〕 東京側は厚15種の基礎コンクリート上に厚5種の表層アスファルトコンクリート鋪裝。埼玉縣側は下層厚13種の1:3:6コンクリート、上層厚5種の1:1.5:3コンクリー



(2) 志村附近の九號國道。

最後迄に40輻の沈下を見たり。以上に要せし工費は1平方米當り1圓240 その内譯は次の如し。

粗朶工	平米當り
	0.380圓
盛土工	"
	0.780
	(1.40 立米土代を含む)
輻 壓	"
	0.080

ト舗装。

粗朶沈床工

昭和八年度施工區域中埼玉縣三橋村地先延長230米の道路は在來地盤上1米の盛土をなすものなれども、軟弱なる水田にして棒を突込み檢するに泥濘深2.5米に達し、カンチキを履かなければ田植など出來ぬ程の底知らずの箇所にして、到底普通の盛土工を以てしては沈下防止困難なるを以て、幅員16米前記延長に對し敷粗朶床固をなし其上に盛土をなし入念に輻壓の上舗装せり。施工後120日に於て沈下2輻に止まれり。

之が施工方法は在來地盤1平方米に付粗朶を2束(1束の徑22輻、長2.7輻)を並べ、一段に敷込み、其上に厚30輻を限度とし層々に眞土を盛立て、2 $\frac{1}{4}$ 噸、4噸、8噸のタンデム型及10.5噸のマカダム型輻壓機により順次入念に輻壓を加へ仕上げたるものなるが、

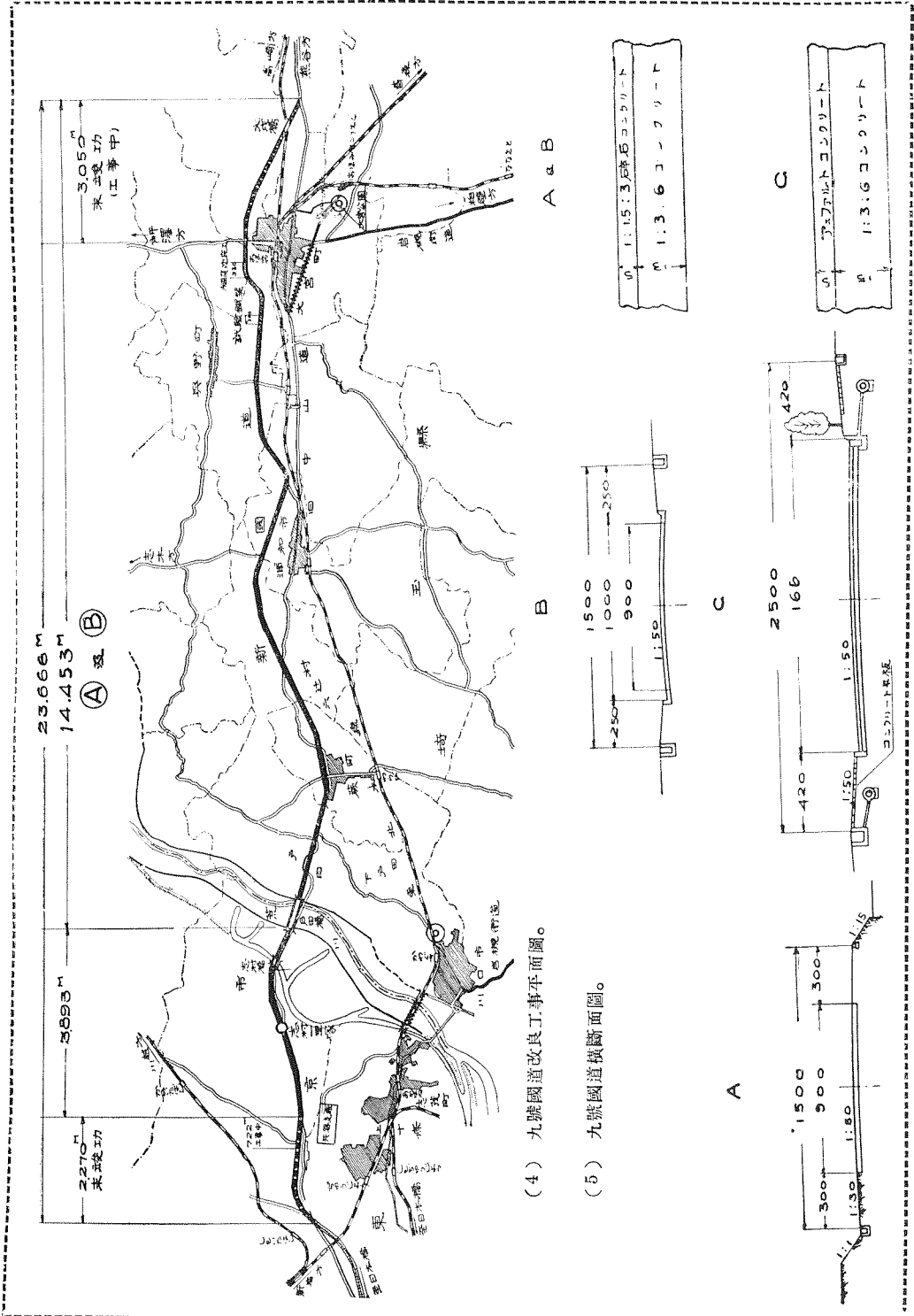
試験舗装

コンクリート舗装の龜裂發生の主なる原因は氣象關係によることが認められ、其ためには配合の著しく異なる二層式舗装は不適當なるを以て之を一層式に施工する方良好なる如く思惟せらるゝに至つたので、本區間の一部に、二層式と同一單價による一層式舗装を試み、龜裂發生の状態を檢しつゝあり。

本試験は施工後一年を経たるに過ぎざる今日に於ては未だ斷定的結論は得ざるも二層式一年後のものに比して頗る好成绩を収めつゝ

(3) 埼玉縣六辻村浦和市間の九號國道。





(4) 九號國道改良工事平面圖。

(5) 九號國道橫斷面圖。



(6) 浦和市附近の九號國道。

あり。試験舗装及普通施工の舗装を比較すれば次の如し、

(1) 試験舗装(一層式コンクリート舗装)

	第一種	第二種
舗装厚(浬)	14	13
種類	1:2:4砂利混凝土	1:2:3砂利混凝土

(2) 普通施工の舗装(二層式)

	厚(浬)	配合	粗骨材
上層	5	1:1.5:3	碎石
下層	13	1:3:6	砂利

戸田橋

本街道中荒川に架せられたるものにして橋長529米、幅員11米、21米77の鋼桁桁17連と157米50(側徑間35米0、中央87米5)の桁木構橋1連よりなる。鋼材總噸數826噸。

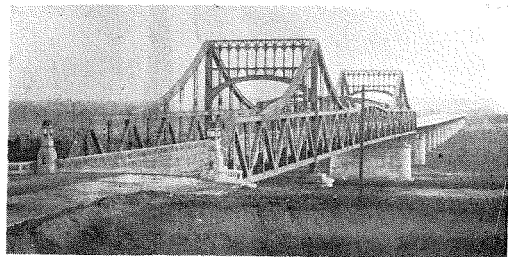
構橋の橋脚は最深41米の井筒基礎上に鐵筋コンクリート造、鋼桁橋脚は米松杭打基礎上鐵筋コンクリート造、橋臺は米松杭打基礎

上扶壁式コンクリート造なり。

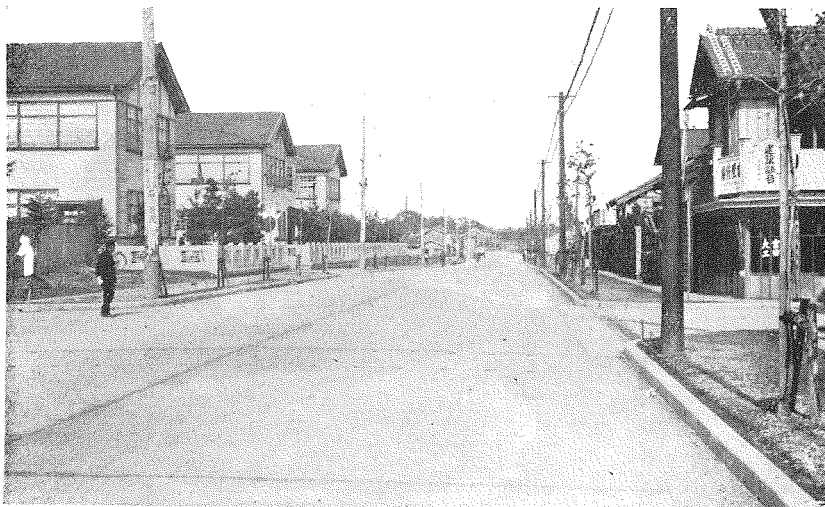
本橋架設個所は一帯に地盤の状態不良にして構橋々脚の井筒工(2基)のみに23萬圓を要せし程の難工事なり。總工費90萬圓にして平方米當り132圓なり。(詳細工事書報昭和八年一月號参照せられたし)

志村一里塚

九號國道中東京市板橋區志村地内に一里塚あり、慶長九年徳川秀忠が家康の意を承けて東海、東山、中山、北陸の諸街道に築きたるもの、一にして、東京近郊に現存する一里塚としては珍らしく完全に近きものなり。寫眞及別項眞田博士の「一里塚の説」参照。



(7) 戸田橋全景



(7) 九號國道浦和市より與野町を望む。浦和小學校附近。

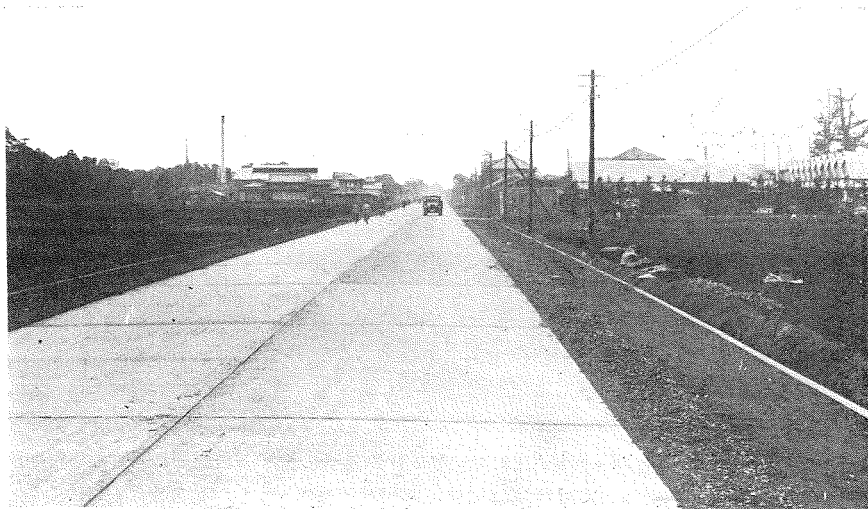


(8) 同上浦和市砂原地先。與野村方面を望む。

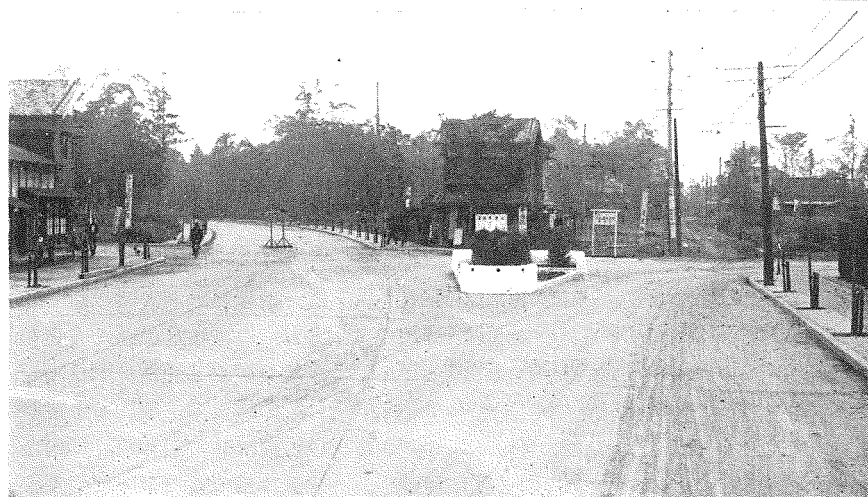


(9) 埼玉縣與野町宇宮前地先。大宮町方面を望む。

(10) 與野町
大字下落合地
先。大宮町方
面を望む。



(11) 與野町
に於ける交叉
點附近狀況。



(12) 測點第
209より第210
間に設置した
安全地帯の状
況。(與野町)

